

伊根町地域公共交通会議

電気自動車を使用した自家用自動車有償デマンドタクシーを運行、太陽光発電による充電拠点を町役場に設け、CO₂排出量削減を実施

これまで行っていた定時定路線型のコミュニティバスを廃止し、事前に予約を行い決められた時間・場所を指定するデマンドタクシー「いねタク」の運行をスタート。「いねタク」は電気自動車（3台）で運行しており、町役場横の太陽光発電設備でつくられた電気を利用。自然エネルギーで発電を行うことでCO₂排出量ゼロを図るとともに「いねタク」に電気をためることで、非常時の電力確保を図るなど、再エネを活用した持続可能なまちづくりに貢献している。また、予約時のみ運行することから回送距離も少ないため、使用する電気量を抑えることもできる。

経済産業省の「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金」の採択を受け、地域に賦存するエネルギー資源を最大限活用し、持続可能な「ええまち」伊根町の実現（地場産業の振興、新たな産業・雇用の創出、モビリティ機能の拡充）に貢献する再生可能エネルギー活用プロジェクトを構築することを目的とし、公共施設の再生可能エネルギー電源化の検討、EVを活用したデマンド交通の利活用検討、農林水産分野で使用しているエネルギーの再生可能エネルギー転換の検討の実現可能性調査を行った。



伊根町は集落が散在しているため、定時定路線のバスだと回送距離が長くなる。

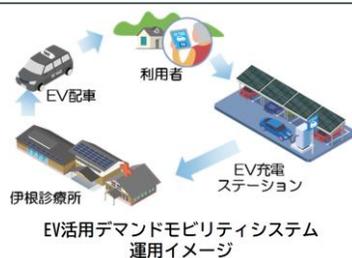
住民は町から全世帯に配備されているタブレットの行政情報配信システム「いねばん」やスマートフォン等から予約を行う。



①いねばんより「いねタク」をタップ

②場所・人数・時刻を入力

③内容を確認して予約完了



EVを活用し、さらにEV充電ステーションに太陽光発電を活用することで、地域の再生可能エネルギー理解促進・転換へつながる。

太陽光発電設備で充電を行う有償運送車両



伊根町役場横の太陽光発電設備



充電施設整備予定地



★電気自動車 3台使用、発電は太陽光発電を行う

【CO₂削減量（年間）】

ガソリン自動車との比較 8.94 t - CO₂ : 普通充電との比較 1.94 t - CO₂（一般家庭1.6軒分）

【今後】地産地消型電源の開発として残土処分場跡地へのメガソーラー設置や主要公共施設への太陽光発電設備の導入を検討、町内に再生可能エネルギーを供給することで、さらなるコスト削減を狙う